

執筆要綱

1. 記述言語：論文は原則として日本語または英語とする。日本語の句読点は、全角の「,」「.」とする。
2. 原稿形式：ワープロまたはパソコンのワープロソフトによる横書きを原則とする。A4サイズの設定で、文字数は40文字×30行とする。左右・上下は適宜あけること。ただし、手書き原稿の場合には、入力にかかる費用を自己負担とする。
3. 図表・写真：別途一括添付し、通し番号（「図1」、「表1」のように）題名、出典を明記の上、原稿本文中に挿入希望箇所を明示する。図版等の挿入に費用がかかる場合は、自己負担とする。
4. ページ番号：論文には通しページ番号を中央下につける。
5. 論文構成：第1章第1節第1項は1.1.1.とする。実験・調査・介入研究の場合は「はじめに」「問題・目的」「方法」「結果」「考察」「文献」などに分けて科学的に論述する。また、「注」は本文中に通し番号を付すとともに、脚注ではなく、原稿本文末尾に一括掲載すること。
6. 著者の氏名の扱い：査読者に対しては著者の氏名や所属を公開しないので、原稿の中では自身の先行研究に触れる場合、謝辞などで人脈が特定できる表現を含めて著者を推測できるような記述を避けること。なお、著者名が推測される場合には、編集部が指摘後、修正を依頼することがある。
7. 文献の表示方法：本文中の引用参考文献の表示は、(渡辺 1982, 473), (Gethin 2001, 29-36), (ヴァレラ 2001), (松本・山本 2005, 931-939), (前掲書, 23)などの例にならい、渡辺(1982, 473)なども併用して簡潔に記述すること。同年に複数の出版物があるときには、2014a などとして区別する。
8. 引用参考文献は、原稿末尾に、まとめて、以下の体裁に則して記載すること。

(1) 単行本の場合

渡辺照宏 1982. 『渡辺照宏仏教学論集』筑摩書房.

Gethin,R. 2001. *The Buddhist Path to Awakening*, Oneworld.

ヴァレラ F, トンプソン E, ロシュ E. 2001. 『身体化された心』工作舎.

(2) 論文の場合

畑 昌利 2011. 「初期仏典における懺悔の諸相」『パーリ学仏教文化学』第25号 パーリ学仏教文化学会.

Ginerenzner,G. 2004. Dread risk, September 11, and fatal traffic accidents. *Psychological Science*, 15.

松本俊彦, 山口亜希子 2005. 「自傷行為の嗜癖性について—自記式質問票による自傷行為に関する調査—」, 『精神科治療学』.

(3) ネット情報の場合

コーク, B.A.V.D. 2006. 「PTSD における脳科学研究の臨床への考察」 http://for-supporters.net/kolk_pdf.pdf (2014.11.25.アクセス).

Phillips, Macon. 2009. President Barack Obama's Inaugural Address. The White House Blog. <http://www.whitehouse.gov/blog/inaugural-address/> (accessed 2009-12-03).

9. 本誌に掲載された論文の著作権は、原則として日本仏教心理学会に帰属する。
ただし、他紙への転載や個人のホームページなどへの転載を希望する場合には、日本仏教心理学会運営委員会に転載等の許可を申し出ること。